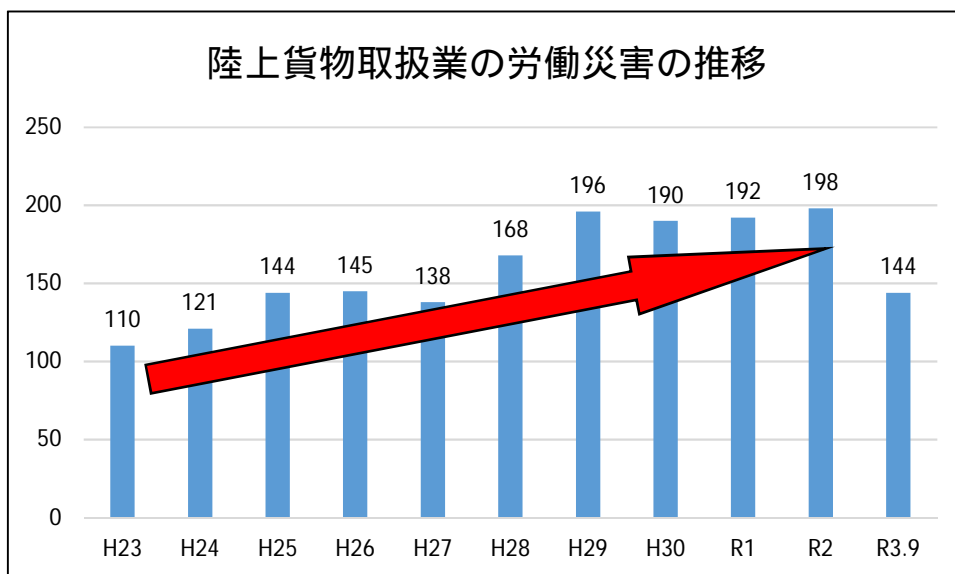
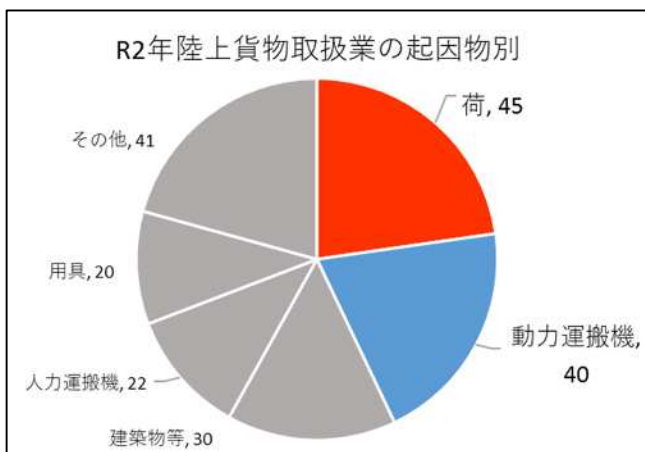
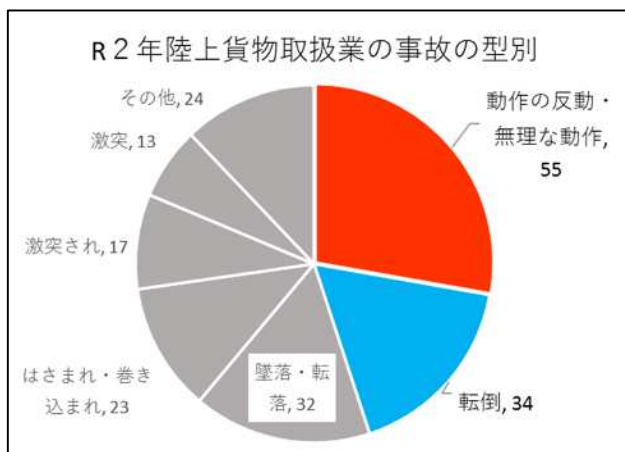


陸上貨物取扱業の 労働災害をなくそう

千葉県内における陸上貨物取扱業の休業4日以上の労働災害は、10年前と比べると**2倍**近くまで増えています。



荷物を持ち上げるときの腰痛災害、足元の荷物に躓く転倒災害、フォークリフトやトラックが関係した災害が多く発生していますので、災害防止対策を再確認しましょう。



荷物の扱いは、速さよりも
丁寧かつ正確さが喜ばれます。

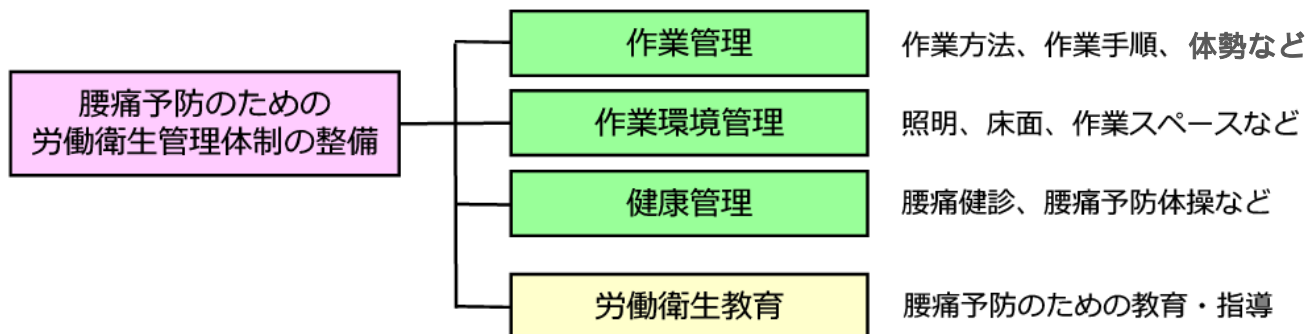


千葉労働局

労働基準監督署

1 腰痛災害を予防しよう！

- 大切な荷物に、近づいて体の正面で丁寧に扱う。
 - ↳ 荷物から離れると前屈姿勢となり腕や膝が伸びやすく、体を捻った姿勢では、腰痛のリスクが高まります。
- 自動化や省力化を図る。
 - ↳ 重量物の扱いや不自然な姿勢を伴う作業は、自動化又は補助具などを使うことで、作業者の負担の軽減を図る。
- ストレッチや体操で体をほぐす。
 - ↳ 作業前や作業途中に、少しの時間でも無理せずに動かす。



「職場における腰痛予防対策指針（H25.6.18付基発0618第1号）」を参考に

災害事例

床にあった段ボール箱を中腰姿勢で持ち上げようとしたら、想定よりも重く腰を痛めた。
コンベヤーを流れてくる荷物を地域ごとのカゴ車に積み上げる作業中、体を捻って積み上げたとき、腰に激痛を感じて動けなくなった。

2 転倒災害を防止しよう！

- 通路や階段に物を置かない。
 - ↳ 通路に台車や荷物を置いたままにしないで、片付ける。
 - ↳ 決められた通路（区画線）からはみ出して荷物を置かない。
 - ↳ 階段は、緊急避難時に使うことを忘れずに。
- 作業場所は常に片付け不要物を置かない。
 - ↳ 空箱や梱包材は、その都度片付けないと、躓く、滑る原因となる。
- ながら歩行をさせない。
 - ↳ 端末装置、伝票、スマホを見ながら。
 - ↳ ポケットに手を入れながら。（特に冬期に注意）

出典：「STOP! 転倒災害プロジェクト」レポート

つまずき



<主な原因>

- ・床の凹凸や段差がある。
- ・床に荷物や商品などが放置されている。

① 作業場所の整理整頓



② 作業場所の清掃



③ 毎日の運動



3 墜落・転落災害は、高所でなくても注意を!

- 脚立は正しい使い方。
 - ↳ 天板に立たず、作業に見合った高さの脚立を使う。
 - ↳ 天板は跨がず、開き止めを確実に掛ける。
 - ↳ 荷物を持って、昇り降りをしない。
- 少しの高さでも踏み台などを使う。
 - ↳ 棚などに足をかけて上部の荷物を取らない。
- プラットホームの端で作業をしない。(トラックがないとき)
 - ↳ 端であることを目立つように明示(表示)する。
 - ↳ 夜間などは、照明で明るさの確保を。
- 脚立・踏み台・はしご・階段は、最後の1段までしっかり確認を。

災害事例



出典 職場のあんぜんサイト

近くにあった脚立を使用し、荷物を取るため天板に立ち、身を乗り出したところ脚立のバランスが崩れ、墜落した。

棚から荷物を取り、脚立を降りるときにステップを踏み外して転落した。

棚の奥側の荷物を取るため、2段目の棚に足を掛けて登ったところ、足が滑って転落した。

電子伝票を確認しながら階段を下りていて、下りきったつもりで足を出したところ、階段がもう1段あり、前のめりに倒れこんだ。

4 ロールボックスパレットは、手足が危険!

- 段差や傾斜の場所は、特に注意を。
 - ↳ 段差があると車輪が引っ掛かり、横転しやすい。
 - ↳ 緩やかな傾斜でも勢いがつくと制御が難しい(止めにくい)。
- 手足のケガが多い。
 - ↳ ロールボックスパレットの移動時に棚や他のパレットとの間に手を挟む。
 - ↳ ロールボックスパレットの引きはじめ、引き移動中、車輪に足が挟まる。
 - ↳ 手足を保護するため、安全靴やプロテクターの着用を。
- 折りたたんだ状態は、倒れやすい。
 - ↳ 折りたたむと場所をとらないが不安定な形状(L形)となるため、保管時は倒壊防止用のロープ等で固定する。

災害事例



出典 ロールボックスパレット使用時の労働災害防止マニュアル

ロールボックスパレット2台をまとめて移動しているとき、他のパレットに接触した衝撃で指を挟んだ。

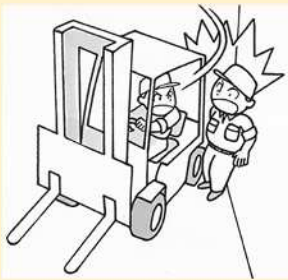
飲料を積載したロールボックスパレットを引いて移動中、他のパレットとすれ違うため、方向を少し変えたとき、足が車輪に轢かれた。

折りたたんだロールボックスパレットをまとめて3人(2人が押し、1人が引き)で移動している途中、3人のタイミングが合わず、引いていた者の足に車輪が乗り上げた。

5 フォークリフトの扱いは注意を!

- フォークリフトは、色々な場面で活躍する機械です。正しい使い方を。
 - ↳ フォークリフトと人との接触を防止するため、場所を区分けする又は誘導者の合図に従って操作する。フォークリフトに近寄らない。
 - ↳ フォークに刺したパレットに、人を乗せて昇降させない。
 - ↳ オーダーピッキングトラックで荷物をピッキングするときは、運転席から身を乗り出さない。作業の性質上やむを得ず身を乗り出す場合は、墜落制止用器具（安全帯）を必ず使用する。ヘルメットの着用も。
 - ↳ 急旋回すると横転しやすく、急ブレーキでは荷崩れしやすいので、制限速度を決め、スピードを出し過ぎない。
 - ↳ フォーク上の荷物の不具合を直すときは、フォークを下す、エンジンを切る、運転席から行わない。
 - ↳ 運転は資格が必要なため、カギの管理を徹底し、無資格運転させない。

災害事例



出典 職場のあんぜんサイト

フォークリフトで荷物を棚に積み終え、後退しながら旋回したところ、近くで在庫確認をしていた作業者と接触した。パレットに作業者を乗せ、棚4段目で作業中に棚とパレットの隙間から墜落した。

フォークにフレコンバックをぶら下げた状態で、下りスロープを走行中に左旋回したところ、横転した。

走行中に積荷の段ボールがズレたため、停車して運転席からマスト越しに直そうとしたとき、チルトレバーに身体が触れ、運転席とマストとの間に挟まれた。

6 働く人全員に安全教育を実施しよう!

- 短時間労働者(パートタイム労働者、アルバイト含む)にも確実に教育を。
 - ↳ 雇入れ時や作業内容に変更があったときは、教育を実施。
 - ↳ 作業の進め方だけでなく、作業に伴う危険のポイントなども教える。
 - ↳ 斉一的な教育を行うためにも、作業標準(安全マニュアル)を作成。
 - ↳ 「やるべきこと」と「やってはいけないこと」を分かりやすく説明。
- 教育した内容の理解及び順守状況を、確認しよう。
 - ↳ 作業標準と実際の作業との間に差が無いか把握する。
 - ↳ 教育した内容が守られているか確認する。
- 作業者の声を聞こう。
 - ↳ 改善提案、ヒヤリ・ハット、リスクアセスメントなど、実際の作業従事者の話や意見を聞き、改善に役立てることで、安全活動への参加意識を高めましょう。



教育に必要な時間を確保しましょう
職場のルールを説明しましょう
ルール違反はお互いに注意しあいましょう
危険と思ったら又は危険を感じたら、責任者(管理者)に報告しましょう

出店：安全で安心な職場を作りましょう